



TOHOKU  
UNIVERSITY

平成28年12月14日

報道機関 各位

東北大学大学院文学研究科

## 東北大学大学院文学研究科 第2回イブニング講座 「メトロのカルチャー」の開催のご案内

東北大学大学院文学研究科では、市民の皆様にも文学研究科の魅力を知ってもらおうべく、また、地下鉄東西線の開通によって利便性の増す川内北キャンパスに足を運んでもらうことにより「文化」を感じてもらいたいという趣旨で、市民向け講座「イブニング講座」を12月7日・14日・21日の3日間開催しております。本イベントは今年で2年目の開催となり、平日のアフターファイブの時間に無料で講義を聴講できるとして、参加者の方々より大変ご好評いただいています。

最終日（12月21日）のご案内のみとなってしまいますが、多数のご出席をお待ちしておりますので、広くご周知いただきますようお願い申し上げます。また、取材をご希望の際は、下記問い合わせ先までご一報ください。

記

### 東北大学大学院文学研究科 第2回イブニング講座「メトロのカルチャー」

日時：平成28年12月21日（水）18:30～20:00

会場：東北大学マルチメディア教育研究棟6階大ホール

（東北大学川内北キャンパス内 地下鉄川内駅 南2番出てすぐ）

対象：どなたでもお気軽にご参加ください。

申込等：申込不要・入場無料

講演者：佐藤 嘉倫（東北大学大学院文学研究科 行動科学専攻分野 教授）

主催：東北大学大学院文学研究科

後援：仙台市交通局

取材申込み方法：下記担当まで、電話、ファックスまたはメールにて連絡下さい

参照：別添をご覧ください。

ウェブサイト：<http://www.sal.tohoku.ac.jp/index-j.html>

以上

問い合わせ先

東北大学大学院文学研究科総務係

電話 022-795-6002

FAX 022-795-6086

E-mail art-syom@grp.tohoku.ac.jp

# M E T R O

東北大学大学院文学研究科イブニング講座 第2回

## メトロのカルチャー

地下鉄は光あふれる車両・駅と暗黒のトンネルという対照的な特徴を兼ね備えた特異な存在です。  
そして1863年にロンドンで世界初の地下鉄が開通して以来、人々の思想や文学、行動に大きな影響を及ぼしてきました。  
今回のイブニング講座では、日本思想史、英文学、行動科学の視点からこの影響について考えていきます。



1  
2016年12月7日(水)  
18:30~20:00

### 地下鉄の怪異 —異界から響く声—

世界中の地下鉄で怪異現象が報告されています。なぜ地下鉄が超常現象の起こりやすい場と認識されるようになったのか、その原因を探ります。

【講師】佐藤弘夫 (文学研究科 教授/日本思想史)

2  
2016年12月14日(水)  
18:30~20:00

### 地下鉄と英文学

20世紀の英米文学が地下鉄からどんなインスピレーションを得たのかについて、具体的な作品をひもときながら、考えてみたいと思います。

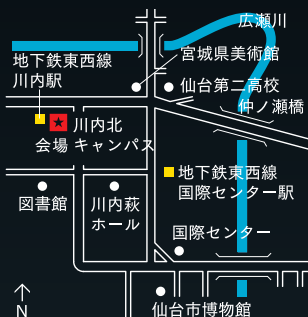
【講師】岩田美喜 (文学研究科 准教授/英文学)

3  
2016年12月21日(水)  
18:30~20:00

### 地下鉄と人間、社会 —近代化の視点から—

日本で初めて地下鉄が通ったのは1927年。近代化の視点から日本初の地下鉄の持っていた意味を探っていききたいと思います。

【講師】佐藤嘉倫 (文学研究科 教授/行動科学)



イブニング講座会場：  
東北大学マルチメディア  
教育研究棟6階大ホール

[ 東北大学川内北キャンパス内  
地下鉄東西線川内駅 南2番出てすぐ ]

主 催：東北大学大学院文学研究科  
後 援：仙台市交通局  
問合せ：東北大学大学院文学研究科総務係  
022-795-6002・6003

入場無料・申込み不要



# C U L T U R E

## 【講座タイトル】

「地下鉄と人間、社会 ―近代化の視点から―」

## 【講師と講座内容の紹介】

さとう よしみち  
佐藤 嘉倫

(プロフィール)

1957年生まれ。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。東北大学より博士（文学）を授与される。専門は社会的不平等、信頼、社会変動。主著に Intentional Social Change: A Rational Choice Theory (2006年、Trans Pacific Press)、『不平等生成メカニズムの解明―格差・階層・公正』(2008年、ミネルヴァ書房)、『ソーシャル・キャピタルと格差社会―幸福の計量社会学』(2014年、東京大学出版会) などがある。

(講義内容)

地下鉄は人々の生活や社会にさまざまな影響を及ぼしてきました。仙台でも地下鉄東西線の開通により、人々の行動やビジネス環境が変わりつつあります。それでは日本で初めて地下鉄ができた時、人々にどのような影響を与えたのでしょうか。日本で初めて地下鉄が通ったのは1927年（昭和2年）12月30日で、その時は東京の浅草と上野を結ぶ、わずか2.2kmの路線でした。しかし当時の新聞を読むと、地下鉄開通が人々に大きなインパクトを与えたことが分かります。当時の資料などを見ながら、近代化の視点から日本初の地下鉄の持っていた意味を探っていきたいと思います。